

■議事概要

- ◇日時：令和4年3月8日（火）13時30分～15時 40分 ◇場所：生田緑地整備事務所2階
◇参加：16名
◇議題：1. 令和3年度第1回自然会議以降のメール会議内容
2. つつじ山におけるヤマザクラ移植と現状報告
3. 市民部会活動報告 4. 傍聴に関する対応進捗 5. 生田緑地植栽ガイドラインについて
6. 枅形山広場のソメイヨシノ更新について 7. ナラ枯れについて ⑩. その他

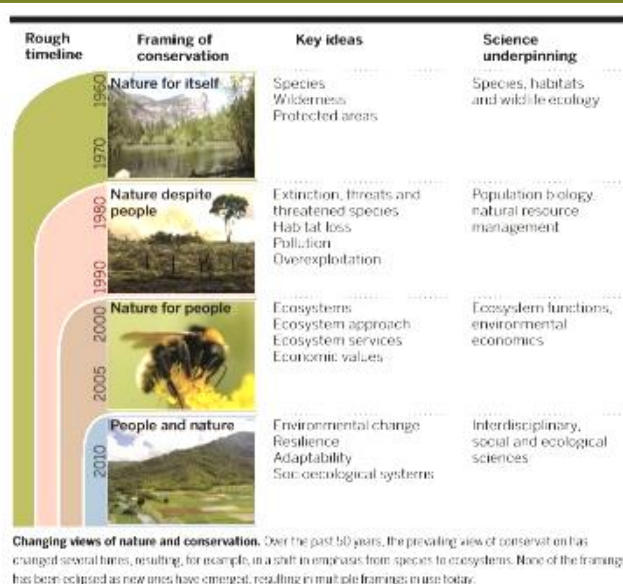
今回は「7. ナラ枯れについて」を重点事項として協議するために、1～5の報告事項は事前に内容を共有し、会議当日は意見のみ受け付けることで会議を進行しました。

会長のことば

この50年ほどの間に自然と保全に関する人々の考え方が変化してきました。

- 1960～70年代「Nature for itself」
- 原生的自然の保護 -
- 1980～90年代「Nature despite people」
- 種を守る考え方 -
- 2000～2005年頃「Nature for people」
- 自然の恵みの理解 -
- 2010年頃～「People and nature」
- 人と自然を全体のシステムの中で考える -

このような、自然と保全についての考え方の多様化は、全世界的なものであり、共通の課題です。自然会議においても考え方の違いを認め合って話し合いを進めていきたいと考えます。



Mace (2017). Science誌より

1. 令和3年度第1回自然会議以降のメール会議内容

令和3年11月30日以降にメール会議で取り上げた案件の確認。また、「自然環境保全管理会議におけるメール会議の運営原則」を再確認するよう事務局からお願いしました。

2. つつじ山におけるヤマザクラ移植と現状報告

- 2019年と2020年に移植したヤマザクラの現状（下記）報告。その他の草本に関しては2019年の調査以降、大きな変化は見られないとのことでした。

	ゾーン外周で見られる樹種		ゾーン内の状況		つつじ山に移植したヤマザクラ樹高（単位：cm）			
					移植日	2019年2月調査	2020年2月調査	2022年2月調査
ゾーンB3 明るい	ソメイヨシノ3 エゴノキ1	ソメイヨシノ 切り株11	ヒコバエ2	キブシ3 ムラサキシキブ4	No.1	2019/2/3	45	128
					No.2	2019/2/3	45	147
					No.3	2019/2/3	75	240
					No.4	2019/2/3	45	142
					No.5	2019/2/3	45	166
					No.6	2022/1/30	—	125
					No.7	2022/1/30	—	145
ゾーンB2 暗い	ソメイヨシノ1 エノキ1 ミズキ2 ユリノキ1	ソメイヨシノ 切り株25	ヒコバエ8	ムラサキシキブ2 マユミ3 ウグイスカグラ1 不明5	No.8	2020/2/3	—	40
					No.9	2020/2/3	—	20
					No.10	2020/2/3	—	43
					No.11	2020/2/3	—	63
					No.12	2020/2/3	—	30

※移植元はA38エリア（長者穴口付近）



3. 市民部会活動報告

- 市民部会 愛称 里山倶楽部 の令和3年度の活動について報告。里山倶楽部は、お子様からご年配の方までどなたでもご参加いただける里山保全活動です。令和3年度は新たな取り組みとして、ハンノキ林でナラ枯れ対応を検討するための小径木伐採等を行い、メンバーと意見を出し合いながら活動を進めました。詳細は、生田緑地公式HP→自然環境保全管理会議のページを下にスクロール→市民部会のお知らせ をご覧ください。

4.傍聴に関する対応進捗

●自然会議における傍聴に関するルール案の提示。自然会議では希少種等、情報の取り扱いを慎重にすべき案件が多いため、傍聴に関しても慎重に検討すべきである等の意見があり、傍聴希望者への対応を引き続き検討していきます。

5.生田緑地植栽ガイドラインについて

●令和3年12月23日のマネジメント会議第3回運営会議において、ガイドラインの説明を行い、意見を募集したところ、3件の意見が寄せられました。自然会議において内容を整理しその後マネジメント会議運営会議に報告する流れとなっています。今回の自然会議では寄せられた意見の報告に留め、後日内容を整理することとしました。

6. 杵形山広場のソメイヨシノ更新について

●向ヶ丘遊園（昭和2年開園）の整備に関連し枅形山等にソメイヨシノが植栽され、長きにわたり桜の名所として来園者に愛されてきましたが、昨今ソメイヨシノの樹勢衰退が見受けられます。これは寿命によることや、環境の推移による衰退と考えられます。対応案として、樹種と更新整備の考え方の確立、協働による取り組み、令和6年の「かわさき都市緑化フェア」時の植樹等が示されました。より具体的な内容に落とし込み、市民の全体の考えも考慮しながら今後も協議を継続していきます。

7.ナラ枯れについて（被害木状況報告/中央地区北側谷戸のコナラ林再生計画について等）

●生田緑地整備事務所のナラ枯れ対応方針は以前から示している通りです。
（右記参照）令和3年度の事業（指定管
対応含む）として、56本の危険木の伐
採を完了しています。また、伐採木処
理について、燻蒸処理は行わないこと
を確認しました。【意見】・危険木を
伐採することは必要だが、単木で伐採
すると光不足で稚樹が育たないことが
予想される。次の林を考慮し、単木の
伐採から群状の伐採への検討を願う。
・全てを雑木林に更新するのではなく、
アカマツ林や草原等を復元することも
考慮してほしい。・これには計画立案、
人手等ソフト面の課題も出てくる。

川崎市の方針

■原則 ナラ枯れ(枯損木)の伐採を進めていきます。

維持管理

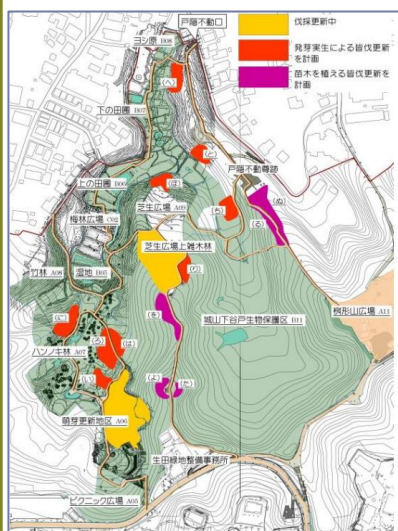
来園者の安全、公園施設への被害軽減、生田緑地に隣接する住民に対する安全対策。

■対象とする樹木

園路・広場脇、公園施設隣接部、外周の縁部の枯損木、東生田2丁目などの未供用地の枯損木

■優先順位

- 1 危険木の伐採
2 上記以外の枯損木…樹林地内の樹木の生育に支障がある枯損木



●左記及び下記は既にメール会議で合議されている「中央地区北側のコナラ林再生計画」です。副会長より改めて説明されました。

[illegible]

◎その他

●日本民家園より「3月31日まで開催されるプロジェクションマッピングに際し、安全確保のため園路の外灯の消灯時刻を21時から21時30分へ変更したい。」との相談がありました。来園者の安全を確保するためであるので、期間限定として、消灯時刻を21時30分にすることを確認しました。